

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和01年11月08日

計画の名称	常陸太田市中心部における産業振興と商業拠点の形成												
計画の期間	平成31年度 ～ 令和05年度 (5年間)												
交付対象	常陸太田市												
計画の目標	<p>常陸太田市では、少子化人口減少対策として「子育て上手 常陸太田」をキャッチフレーズに若者や子育て世代への移住・定住促進の各施策を他市に先駆け積極的に進めてきたことにより、一定の成果が得られつつある状況である。</p> <p>その一方で、本市はかつては県北の商業中心地として栄えた都市であったが、人口減少、高齢化、後継者不足などから旧中心市街地では商店数が激減し、賑わいを潜めるなか、近隣市においては幹線道路沿いに大型量販店などの立地が進み、市民の買い物額の約4割が市外に流出している状況となっている。</p> <p>また、第6次総合計画作成において実施した市民アンケートの結果、市民の約7割が魅力ある商業施設の整備を望んでおり、現況施設の満足度が、働く場の確保と並んで最下位となっている。</p> <p>このような状況のなか、常陸太田市東部地区は、令和元年5月に市街化区域に編入され、新たに魅力ある市街地として、国道349号バイパス沿道の立地特性を活かし、買い物環境の改善や新たな雇用の創出などを目的とした、商業業務用地の整備を地域と連携して推進しており、将来にわたり持続可能なまちづくりを進めている。</p>												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,839	A	1,839	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
1	市内の年間商品販売額の向上 商業統計における本市の年間商品販売額を集計する。	H31当初 42039百万円	中間目標値 百万円	R5末 48200百万円
2	常陸太田市東部地区内の新規就業者数の確保 常陸太田市東部地区への進出企業における就業者数を集計する。	0人	人	500人
3	子どもたちの地域への愛着度の向上 市民アンケートにより愛着度調査を行う。	52%	%	65%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H31	R02	R03	R04	R05				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	常陸太田市	直接	常陸太田市	-	-	常陸太田市東部地区都市再生整備計画事業	道路事業、公園事業、地域防災施設、高質空間形成施設等	常陸太田市東部地区						1,839		未策定	
											小計						1,839			
											合計						1,839			

事前評価チェックシート

計画の名称： 常陸太田市中心部における産業振興と商業拠点の形成

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 都市再生基本方針との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 3) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○

参考図面 (社会資本整備総合交付金)

計画の名称	常陸太田市中心部における産業振興と商業拠点の形成	交付対象	常陸太田市
計画の期間	令和元年度 ~ 令和5年度 (5年間)		

